

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100219
法人名	医療法人 健秀会
事業所名	グループホーム どんぐりの里
所在地	霧島市隼人町真孝113.1 (電話) 0995-44-6934
自己評価作成日	令和3年11月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年12月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①家庭的な雰囲気の中で入居者の方々には晩年を過ごし頂くこと
- ②隣接のたまいきクリニックで医療的なサポートが十分に行えること

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、泌尿器科・皮膚科・内科を標榜する母体病院(協力医療機関)に隣接して設置されている。国道10号線と国道223号線のバス停も近く、JR隼人駅から徒歩15分であり、周囲には学校・自動車教習所・マンション・商店街等があり、利便性に優れた地域に位置している。協力医療機関とは常に連携を密に図り、主治医との24時間医療連携体制も構築され、看護師の配置により健康管理が充実し、利用者及び家族・職員の安心に繋がっている。

地域との触れ合いを大切にして家族のように利用者寄り添い、一日でも永く笑顔で過ごせるようなケアを目指して理念を掲げ、職員は常に理念を意識しながら日々のケアに努めている。利用者にとってホームは家庭と同じような環境であり、可能な限り希望に沿って生活できるように、利用者及び家族の思いや要望の把握に努め、利用者の望む暮らしの実現に向けて取り組んでいる。

管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを十分に図り、有給休暇や資格の取得、シフト交代等が円滑に行われるような協力体制を整備して働きやすい職場環境づくりに努めている。職員の勤務体制の状況によっては、協力医療機関からの援助を得るなど、十分な支援体制が整備されている。

現在はコロナ禍でこれまで実施してきた活動に影響が出ているが、面会や外出等、制約された状況の中でもお互いの信頼関係を構築できる機会を大事にして、利用者の精神的なリフレッシュを図りながら、支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職場の理念を掲示し常に職員の目に付く様にしている	開設当初からの理念を玄関・リビング・事務所に掲示し、定期的な勉強会やカンファレンス等でケアについて振り返り、意見交換して浸透を図っている。職員は常に理念を意識しながら日々のケアに臨み、利用者の気持ちに寄り添って支援に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(今年は感染予防の為) 地域とのつながりに努めたが交流は不十分である	町内会には加入していないが、地域の民生委員や住民との交流は図られている。例年は地域の行事に参加したり、ボランティアや学生の職場体験学習等も積極的に受け入れているが、現在はコロナ禍のため病院受診・家族との面会・訪問美容以外の交流は控えている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	感染予防に対して貢献出来ていない		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに運営推進会議を開いていたが、感染防止の為書面にて報告し、意見を伺い問題点を検討しサービス向上に活かしている	運営推進会議は隔月毎に開催していたが、現在は新型コロナウイルス感染予防のため、家族・市役所・民生委員に対してホームや利用者の状況・インシデント事故報告等について記載した書面をホーム便りと一緒に送付している。出席者からの意見や情報等をサービスの向上に繋げるためにも、会議の再開を待っている状態である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者の方に運営推進会議に出席して頂く様にしている。アドバイスを頂きより良いサービス提供する様にしている	市担当職員とは主に電話でホームの状況等について相談・報告し、指導・助言等には迅速に対応してもらっており、生活保護受給者には福祉事務所のケースワーカーと連携を図るなど、日頃から市との協力関係を築けるように努めている。日本認知症グループホーム協議会主催の研修はリモートにより参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止について職員の理解を得られるよう、勉強会を行っている。身体拘束をしないように取り組んでいる	「身体拘束の適正化のための指針」に基づき、新規職員が入職した時や3か月毎に適正化委員会を開催し、勉強会を年1回、法人の朝礼で月1回、ケアの振り返りや意見交換等により職員の意識を深めている。職員間の人間関係を良好に保ち、言葉遣いに配慮しながら、見守りや寄り添いに努めて気持ちの安定を図り、自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待、精神的虐待について職員の理解を得られるよう勉強会を行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、必要な時に活用出来るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設長やケアマネージャーにより入院時に契約の説明をご家族様に行い、サインや印鑑を頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などに意見を頂く様になっている	利用者の思いは日常会話や仕草等から把握し、家族からの意見・要望等は面会・電話等で気軽に話してもらえぬ雰囲気づくりに努めている。現在、面会は予約制で時間を決めて玄関先でパーテーションを使用して実施しており、制約された状況の中でも把握できる機会を大切にしてお互いの信頼関係を構築している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にミーティングを行い職員の意見を伝える機会を作っている	ホームは母体クリニックに隣接しており、職員の勤務体制が不十分な時にはクリニックから応援をもらうことができる。子育て世代の職員に対しては、有給休暇取得やシフト交代等が円滑にできるように、また、資格取得に対する協力体制も整備され、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	必要時動けるよう職場環境条件の整備を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内外の研修の出席者より報告を受けるようにしている		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	法人外の研修の出席が出来るよう調整している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常生活で困っていることを最初は見守って、観察し声掛けを行う		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族構成など長い目で見て老々介護など話し合っって相談相手になる事		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の治療などサービスもクリニックにて見てもらっている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションや誕生日会など参加呼びかける		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	時々利用者様やご家族様の声をもっと傾聴しておく		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	すぐ近所の方等仲良く会話して頂いています	利用者の馴染みに関する情報は、入居時のアセスメントや日常会話、家族からの情報等により把握して職員間で共有している。これまで通院・買い物・受診とそれに伴う家族との外食・散歩等の機会を見つけて支援してきたが、現在はコロナ禍のため訪問美容や電話・手紙の取り次ぎ等を行いながら、関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来るだけ仲良くされる空気作りを行っている（レクリエーションなどホール遊びを行っている）		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	どんぐり便りを作成し送ったり相談や面談も短時間パーティション越しで実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日中好みのレクリエーションを皆さんで行い仲良く寄り添って参加される	利用者の日頃の会話や表情・仕草等で普段の声を聞き取るように努めて思いや意向を把握し、家族や病院からの情報も確認しながら、本人の気持ちに寄り添った支援に取り組んでいる。短歌・ドリル・ちぎり絵・風船バレー・軽体操等、利用者の意向に沿った個別支援にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	規則正しく生活して頂き昼寝もされる		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	夜間不眠症の利用者様は昼寝をされず早々に夕方休んでいただく		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月2回会議を開き問題解決に進めている	利用者・家族の意向や希望、主治医や看護師からの意見等、また、支援記録や申し送りノート等の情報を基に職員間で検討して、利用者主体の介護計画を作成している。計画作成は6か月毎を基本としているが、利用者の状態変化に応じて計画の見直しや修正を行い、よりよい暮らしを実現するための計画となるように取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>夜間トイレに行かれる方で夜寝れない方に眠剤を使用している日と使用していない日を比べてみる</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様の要求には出来る限り聞き入れてコロナ時期も面会もパーテーションごしに短時間でやっている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近くの散髪など希望され喜んでもらっている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>早期発見に努め近くのクリニックへ受診される</p>	<p>全ての利用者が母体の隣接医療機関を主治医としており、毎月2回の定期受診を支援し、専門診療科の受診は家族が同行している。職員の中に健康管理を担当する看護師が2名いることで、家族にとっても職場においても心強い。主治医との24時間医療連携体制も構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設するたまいクリニックに定期的に受診体制を取り、グループホーム内看護師職員を中心にたまいクリニックと連携をとり早期発見や適切な受診や緊急急変時にもすぐに報告し指示や受診を受けられるようにしている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	キーパーソンとなる方と連絡を取りながら、情報交換を行っている。病状変化時にはたまいクリニックを介し他院へ相談している		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居の際看取り介護について説明を行い了解は得ており、重度化終末期の医療については主治医よりご家族様やキーパーソンとなる方へ説明を行い理解の上で対応している	「看取りに関する指針」「重度化した場合における対応に対する同意書」を整備し、入居時や利用者が必要な状態になった際に本人・家族に説明して同意を得ている。家庭のような環境の中で可能な限り希望に沿って生活できるような支援に努めているが、終末期には病院等へ入院する利用者が多い。看取りのケアに対する職員のスキルアップや不安軽減のために、母体病院の院長・看護師等が中心となって研修も充実されている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	たまいクリニックと連携し、事故発生時の勉強会等を行い対応出来るよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練の実施、防災グッズの管理、避難経路を把握し職員全員の意識を高める様に努めている</p>	<p>災害への対策として「防災訓練マニュアル」をフローチャート化し、年2回の夜間想定を含む訓練のうち、1回は消防署の協力を得て火災を中心に実施している。自動通報装置の点検、防災レースカーテンの取付け、訓練のシュミレーションの実施などの自主訓練も行い、防災への意識を高めている。飲料水や食品等の備蓄は法人本部で行っており、懐中電灯・ラジオ・カセットコンロ等も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊敬の念を常に持ち、一人一人の性格や言動を把握し、その人に添った声掛けやケアをして行くように努めている	「プライバシー保護マニュアル」を整備し、権利擁護・虐待防止・倫理規定等も意識して、日常のケアの様々な場面において利用者の誇りやプライバシー確保に配慮した支援に取り組んでいる。特に声掛けの際には大きな声を出さず、そっと寄り添えるような対応に心がけ、職員への研修も実施して意識付けを図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活ご本人の意思や希望を尊重し汲み取り、ご本人の決定で出来るように支援をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の状態を把握、確認しながら声掛けし、どうしたいのか意思をくみ取りながらペースに合わせて支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝晩や四季の感覚を持って頂くようにメリハリのあるように声掛けをしながら服装選びに心掛けている。定期的な訪問理容を利用している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人にあった食事形態や咀嚼、嚥下、状態を考慮し、その人に応じた食事支援の仕方など職員で話し合い提供できるように努めている	利用者の食事・おやつ等は全てホームで手作りし、職員2人が担当して献立を作成しており、法人の栄養士が毎月指導している。カンファレンス等でも十分に検討して利用者の身体状況に合わせて食事形態を工夫し、利用者は下ごしらえ・テーブル拭き等を行い、行事食やおやつ作りなど食事が楽しみになるような支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせた食事の提供を行い、旬の食材を取り入れながら栄養のバランスを考えている。たまいきりニックと合同で一ヶ月に一回給食検討会を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声掛けにて毎食後の習慣として行っている。又口腔内の異常や気になる所は訪問歯科の時に尋ね必要に応じて治療に入っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を基にパターンを把握し、誘導を行ったりオムツ使用量の確認を行っている。利用者様に応じた支援や対応を職員で共有している。	利用者の羞恥心や不安軽減を図りながら声掛けや誘導を工夫し、日中は可能な限りトイレで排泄できるように支援している。夜間はポータブルトイレを使用したり、利用者の状況に応じて介護用品やケアの方法を検討し、介護計画に組み込んで適切なケアに取り組んでいる。便秘予防では食事・水分・乳製品等の摂取を促し、必要な場合には下剤を使用するなどして状態の改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように乳製品を取り入れている。必要に応じて医療機関との連携を取っている（適宣下剤処方を行っている）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴、シャワー浴を入居者様の状態、希望にて行っている	1対1の個浴で週2～3回の入浴を基本としているが、排泄時の失敗等必要な場合には随時入浴できるよう柔軟な対応に努めている。入浴剤を使用し、シャンプー等は共用で入浴後の水分補給・保湿剤使用にも配慮している。入浴をためらう利用者もなく、本人の好みや習慣に沿ってゆったりと入浴が楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後は口腔ケア、トイレをすませ、暫くして約一時間程度ベット臥床して頂いています。本人の希望でリビングで過ごす事もあります。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時間遅延の時は医療従事者に連絡を取り服薬方法の確認をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	天気のいい時は施設周辺の散歩を行う。レクリエーションを午前中もしくは午後に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族からの要望にて施設長より許可を貰い外出、自宅での外泊を予定しておりましたが、コロナ渦の中現在自粛中	例年は家族との外食・外泊・墓参りや、ホームでは花見・ドライブ・買い物等を実施していたが、現在はコロナ禍のため近隣の散歩以外は自粛している。その代わりにホーム内では童謡を歌ったり、風船バレー・体操・ボール遊び等のレクレーションの充実を図り、利用者の心身のリフレッシュに努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金の所持や使うことを望んでいる方は居られない。ご家族様より預り金を保管している		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人が不穏を見られた場合、ご家族様へ電話にて近況を職員が伝え、その後会話して頂いている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事を行う際、職員が事前にリビング等の飾りつけを行っている。	ホームは木造で、リビングには天窓が設置されて明るく、季節の花・利用者の作品・絵画等が飾られ、空気清浄機も置かれて定期的に換気され、環境に配慮された対応が感じられる。共有スペースは掃除が行き届き、不快な音や臭いもなく、台所からは調理の音や匂いがして、家庭的な雰囲気の中でゆったりとくつろいで過ごすことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の時は指定されたテーブル席に座ってもらっている。利用者様の関係性によって利用者様が希望にて話したい方の席へ誘導している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた机、引き出し、チェストを居室に持って来られている利用者様も居られる</p>	<p>居室は腰高窓で、空調管理においては換気に配慮して室内の換気扇を使用し、エアコン・ベッド・タンスが設置されている。利用者は馴染みの布団・テレビ・写真・箸・コップ等を自由に持ち込み、家庭同様に居心地よく暮らせるように支援している。家族の協力を得て衣替えを実施し、室内の整理整頓に配慮した支援に心がけている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>色塗りをする利用者様の作品をリビングの壁に飾り日付カードを貼ったりしている。洗濯ものを畳んで頂いたりその方の出来ることをして頂いている</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない